

昭和 58 年度研究発表等 記録

出版者	長野県ことばの会
引用	ことばの研究 3: 2-3(1984)
発行年月日	1984-07-20
URL	http://hdl.handle.net/10091/00022367

昭和58年度研究発表等 記録

58年9月23日 第14回研究発表会・シンポジウム・講演会

松本市厚生文化会館

I 研究発表

1 「～てしまう」の意味

東京都、区立足立中学校教諭 上条 厚

2 ことばと文化

—— 海外研修生への日本語の教授から ——

長野県教育委員会県民生活課指導主事 小笠原陽一郎

II シンポジウム「標準語」

1 標準語問題とは何か

信州大学教育学部教授 京極 興一

2 放送のことばと標準語

信越放送報道制作局 金井 秀一

3 国語教育と標準語

上田女子短期大学講師 青木千代吉

III 講演

日本語の成立と琉球語

東京都立大学助教授 中本 正智

(この講演は、長野県国語国文学会中信支部、中信高等学校教育会との共催で行ったものである。)

59年1月22日 第15回研究発表会

長野市信大教育学部音声言語実習室

1 送り仮名の研究

—— 漱石と鷗外 ——

信州大学教育学部学生 岩田 正伸

2 ガ行鼻音

—— 長野市における実態 ——

長野市立古牧小学校教諭 清水千寿子

3 古事記における農業語彙

—— 稲の神々を中心に ——

北佐久郡蓼科高校教諭 窪田 英治

4 言語（発達）の心理学的研究について

信州大学教育学部幼児心理学科

講師 鈴木 情一